

稿 寄

# 里山里海活動の価値

台湾での国際フォーラムに参加して

館山 齊藤 陽子

4月18日から23日に  
かけて、台湾で「地景  
の永続的發展のための  
国際フォーラム」が開  
催されました。この会  
議で安房からは、安馬  
谷里山研究会の横山武  
さんと笹子全宏さんが  
招かれて発表されまし  
た。なぜ国際会議に安  
房の里山活動なのか、  
まずはご紹介します。

地景の永続的發展のた  
めの国際フォーラムと  
は

景色や土地の持続可  
能な開発・發展を議論  
する場として、ドイツ  
やベトナム、日本から

でした。  
安馬谷里山研究会から  
発表の経過

数ある日本の取り組  
みの中で、地元研究会  
が招待されたのは、台  
湾国立高雄師範大学地  
理学系の劉(りゅう)  
淑恵教授とのご縁から  
でした。劉教授は20  
16年5月に開催され  
た第13回里山シンポジ  
ウムin南房総に参加  
されて発表され、この  
地の里山活動も熟知さ  
れています。

里山里海活動の現在の  
価値

台湾でこのように関  
係機関が連携して、多  
岐にわたる分野のバラ  
ンスの取れた自然保護  
と開発が討論されるの  
は画期的なことという  
ように

定の枠組みにおける温  
室効果ガスの削減で  
す。それには炭酸ガス  
を吸収する森林の活用  
が大切です。

また2015年9月  
の国連サミットで採択  
されたSDGs(エ  
ス・ディー・ジーズ)  
世界を変えるための17  
の目標)では、④気候  
変動に具体的な対策を  
⑭海の豊かさを⑮山の  
豊かさをも——と挙げ、  
持続可能な世界を実現  
するため、地球上の誰  
一人として取り残さな  
い取り組みを誓ってい  
ます。

現在の喫緊の課題  
は、地球温暖化防止の  
ための取り組みです。  
世界目標は2015年  
に締結された、パリ協  
定

雑木林を切り開き、桜  
や椿などを植樹してき  
ました。この場所は市  
民の森林セラピーの場  
所として活用され、里  
山ハイキング、里山保  
育などが行われていま  
す。代表の横山さんは、  
里山を案内する時には  
必ず海の見える所に案  
内するそうです。整備  
した山から注ぐ鉄分を  
含んだ有機物が海のプ  
ランクトンを育て、生  
物多様性を実現してい  
ることを実感してもら  
うためです。



台湾で発表する横山武さん

表します」と笑いをさ  
そって口火を切りまし  
た。同会も参加して2  
018年5月には南房  
総里山里海連絡会を組  
織したとして、大房岬  
自然の家、「きらり」  
じょうやまの会、大貫  
古道の会、高塚山望活  
クラブ、和田浦くじら  
食文化研究会、大山千  
枚田の活動について映  
像を交えて報告され、  
世界の参加者と里山里  
海活動の価値を共有す  
る時間となりました。  
外から評価されて、  
足下の価値に気が付く  
ことがあります。地元  
の方たちが長年行政と  
共働してボランティア  
で取り組んできたこの  
ことに、私たち市民も  
物心両面で支援するこ  
とも、SDGsへの取  
り組みの一環になると  
考えました。(樹木医)